

## ● 新規購入図書紹介

図 書 名	著 者	出 版
<b>政 治</b>		
判例から学ぶ 政務活動費の実務	元全国都道府県議会議長会 事務局次長 内田 一夫(編著)	ぎょうせい
議員必携 第1 1次改訂新版	全国町村議会議長会(編)	学陽書房
<b>財 政</b>		
地方財政白書 平成31年版	総務省(編)	日経印刷
平成31年度 税制改正早わかり	中村 慈美/松岡 章夫/秋山 友宏/渡邊 正則	大蔵財務教会
<b>社 会</b>		
南海トラフ地震 その防災と減災を考える	秋山 充良/石橋 寛樹	早稲田大学出版部
災害を知り、備え、連携して減災を考えよう	白濱 龍興	内外出版
地方発 外国人住民との地域づくり	徳田 剛(編著)/二階堂 裕子 (編著)/魁生 由美子(編著)	晃洋書房
<b>伝 記</b>		
昭和天皇実録 人名索引・年譜	宮内庁	東京書籍
<b>そ の 他</b>		
県立！再チャレンジ高校	黒川 祥子	講談社
遺伝子組み換えのねじ曲げられた真実	スティーブン・M・ドルーカー/ 守 信人(訳)	日経B P社
クルマ社会の地域公共交通	野村 実	晃洋書房

## ★ ★ ★ ★ ★ 1300年つづく日本の終活の旅 ★ ★ ★ ★ ★

令和元年5月20日、全国で16件の日本遺産が登録されました。その中で、和歌山県が含まれる西国三十三所が、「1300年つづく日本の終活の旅 ～西国三十三所観音巡礼～」として登録されました。西国三十三所とは、近畿2府4県と岐阜県に点在している三十三か所の観音を巡礼する霊場のことです。

そこで、西国三十三所が認定されたストーリーを調べてみると、「究極の終活とは、ただ死に向かって人生の整理をすることではない。人生を通して、いかに充実した心の生活を送れるかを考えることが、日本人にとっての究極の終活である。そして、それを達成できるのが西国三十三所観音巡礼である。(抜粋)」となっていました。

今回、日本遺産となった西国三十三所の構成文化財として、県内には一番札所・那智勝浦町「青岸渡寺」の如意輪観音をはじめ、二番札所・和歌山市「金剛宝寺(紀三井寺)」の十一面観音、三番札所・紀の川市「粉河寺」の千手観音があります。

また、紀三井寺は、平成29年4月に日本遺産に登録された「絶景の宝庫 和歌の浦」の構成文化財ともなっているので、今回が2度目となります。これは、和歌山市民として、大変喜ばしいことです。

